

○柳町地区タウンミーティング議事録（概要）

日 時 令和5年7月29日（土）

午前10時から午前11時15分まで

場 所 柳町公民館

出席者 38人

テーマ1 富山市の観光施策について（商工労働部）

<主な説明事項>

- 1 観光の現状と動向
- 2 富山市の状況
- 3 富山市の観光施策

【商工労働部の説明に対する質問】

- ・ 私は富山市、富山県の観光と言いますか色々な面で Facebook や Twitter、YouTube へは今年2月から投稿しております。まず、富山市の観光を勉強したのはもう40数年前からで、個人的に色々勉強したり、改井（旧富山）市長の頃から、富山市の観光課や、富山県の中沖知事、石井知事にも、私の言いたいことだけは提案して、結果、県でも取り入れてもらったことがあります。それで、私は Facebook で旅行が大好きなグループに5つ参加しています。外国人だけ（が参加している）旅行が好きなグループにも参加しています。私はよく立山連峰の風景や県の美術館、最近富山市岩瀬古志町から見た立山連峰を、本当に綺麗な場所なので投稿しております。そのコメントが参考になるのかわかりませんが、外国の方から、この山は富士山ですか、という返信が入ります。立山連峰を富士山（と言われて）私は返信が難しいです。要するに、知らない方には（立山連峰が）富士山と認識されていて、PR不足ではないかと私もつくづく思っております。それで、富山県を一度も訪れていない他県の方で、日本で富山県がどこにあ

るかご存知ない方は非常に多いです。これは本当に現実なんです。ですから、富山県を知らない方に「これは立山連峰の風景です」と言っても、合成写真だと言われます。はっきりとこの近くでそのように言われて、私は何も言えませんでした。富山に縁のある方、親戚（がいたり、）富山大学（に通っていたり）、このような方はご存知ですが、本当に知らない方は、このような風景はありえないと思うようです。そのような出来事もありましたことがまた参考になればと思います。

それで私が一番PRしたいのは、富山市、富山県における共通点で、富山県というのは水がおいしいということです。これには理由があります。富山の大学の先生の本を読んできましたら、水の成分で、おいしい成分というものがあるそうです。それで、秋田県で有名な水の成分が、例えばABCのAとします。神戸の六甲の方で取れる水も、おいしい成分が入っています。一応Bにします。富山県の水はAとBの、おいしい成分と言われるものが二つ入っていますと（いうことでした）。そのように学者の方が認定して（います）。全国でもその二つが入っているのではないそうです。富山県の立山連峰の地質、風土と言いますか、富山県だけの地質によって、出ている水ですと（いうことでした）。新潟県・長野県・岐阜県・石川県は絶対に無いのです。あまり取れないと言いますか。それで、私は新幹線が富山駅にできる10年ほど前から、ぜひ駅に水を飲める場所を設置してくださいと、県へも3回以上申し込みました。今、現実に設置してあります。よろしかったら尋ねてください。

観光の話ですが、私は改井（旧富山）市長の頃から、観光基地の富山市になってください（と言ってきました）。観光基地というのは（観光客の）受け入れ（があり）、（観光客が）出入りする（というもので）、そのような富山市になって欲しいなとつくづく思います。（富山市には）高山線や北陸新幹線などがあります。そのような、ちょうど石川県や新潟県にない環境と言いますか、それを何とか大きくPRしていただきたいと思っております。

話は色々きりがありませんが、チンドンの話が出ましたけれども、富山市の一般市民を対象にした全国大会というのは、チンドンだけだと私は思っております。何とかぜひ継続し、また盛り上げていけるようお願いしたいと思っております。

他県の企業について、何とか富山市、富山県へ誘致できるように、ぜひ努力をお願いしたいと思います。工場でもいいです。なぜこのようなことを言うかという、その（企業の）方に富山県の風景をPRしてもらえるからです。別にこちらが言わなくても、富山にはこのような風景あるんですよ、こういうところですよと、自動的にアピールしていただけるチャンスになります。ですから、色々な観光客を集めるというのも一つの方法（ですが）、でも企業誘致も本当に行ったほうが良いのではないかと（思います）。私は、知事ではありませんが、そのように力を入れた方が間違いなく富山県の風景（についても）、合成写真という言葉が聞かなくなるのではと思います。

最後に、若者集めの対策（についてお話しします）。若者というのは20代や学生（のことを指します）。一番良い方法は、学校や学ぶ場所の誘致です。誘致がありましたら、間違いなく若い人が、学生ですから（学びに来ます）。それプラス、例えば学生を目当てにして、若い人がまた集まってきます。そのようなことに成功したのは金沢市です。色々な学校があります。富山市は（学校を）数えたら少ないのですが、若者が集まるというきっかけ（として）、色々な学ぶ機会を設置して欲しいと（思います）。

- 資料に、全国における富山県の状況として延べ宿泊者数が書いてありますが、これは観光客だけ（の数字）なのでしょうか。

（商工労働部長）

これは宿泊者数なものですから、ビジネス客も入っております。

- そうですね、ビジネス客もいると思うのです。ですから、その辺りのデータの収集なのですが、あくまで観光というのであれば、もう少しクリアになさった方がよろしいのではないかと（思います）。

それから、超富裕層と書いてあります。超富裕層というのは、どこの国においても、おそらくピラミッド型になっているはずだと思います。そうすると、人数は限定されてくるのではないかと思います。そうしたら、観光政策の間口の広さを考えてみた場合に、やはり一般の観光客がターゲット数として、一番その観光需要及びその地元に対する利益の与え方が大きいと思うのです。ですから、私はここでなぜ超富裕層というような限定の仕方をしているのか、少し疑問に思いました。

(商工労働部長)

それは実はチャンネルの話でして、当然、今おっしゃったように、総額等の話で言えば一般の方、特に今外国人と申しましたが、日本人の方が圧倒的に多いです。ですが、そのような富裕層の方のチャンネルにも力を入れて、間口を広くしようという意味です。

- それともう一つ、観光交流都市との連携で、岐阜市・長野市・飯山市と書いてあります。富山市のロケーションから考えてみた場合に、距離的な面で私はなぜ岐阜市・長野市・飯山市が出てきたのか、それが少しピンときません。

(商工労働部長)

長野市・飯山市はこれまで、北陸新幹線の沿線でたまたま色々な申し入れや交流があり、岐阜市というのはやはり高山市などを意識しています。(岐阜市への)ゲートウェイといったような部分を意識してのことです。

- そうしたら、例えば岐阜市に行くまでの間に、例えば高山市や飛騨市、あるいは下呂市がありますが、そういった面はどうなされるのかなと思います。

(商工労働部長)

実は交流都市を結んだ背景には、首長同士の関係等が色々あり、たまたまおっしゃるところは(観光交流都市には)ならなかったと(いうことです)。当然意識はしております。

- 結局どのような業務もそうなのですが、行政の効率化の問題に結びつくと思うのです。ですから、観光行政の効率化という面を考えてみた場合には、できる限

り、市の施策で観光行政を効率的に行えばいいわけなので、そのような点を考慮なさってもいいのかなと思います。

(市長)

少し補足ですが、今、飛騨市と高山市と非常に良好に話しを進めております。ただ、高山市は外国人誘客については一人勝ちしています。高山本線が先ほど話に出ましたが、何とか富山市・金沢市を周遊して欲しいというような話で、これまではこちらからアプローチしても、なかなか向こうの市は興味がないような感じでした。とはいうものの世界的な競争ですので、広域的に考えないと外国人の方あるいは日本人の方も来ていただけないので、近隣都市、特に飛騨市と高山市、金沢市としっかりスクラムを組んで実施してまいりたいと思っております。

テーマ2 健康寿命の延伸～住み慣れた地域でいつまでも～（福祉保健部）

<主な説明事項>

- 1 平均寿命と健康寿命の推移
- 2 富山市の要支援・要介護認定率
- 3 介護予防の推進
- 4 がん予防の取組み
- 5 富山市のがん検診と取組み

【福祉保健部の説明に対する質問】

- ・ がん検診についてお聞きしますが、柳町校下で言いますと、公民館ではここ何年か集団検診を行っていないと思うのですが、それで検診率が低くなっているのではないのでしょうか。

(保健所地域健康課長)

ここ最近のがん検診につきましては、コロナの関係で開催場所を縮小し、保健福祉センターを中心に実施することとして、公民館などの実施場所は少し見直しをさせていただいた関係から、今おっしゃったようなことになっております。ま

た開催場所の変更に併せ、密を避けるため、集団検診と参加希望につきましても少なくした関係がありますので、今おっしゃった事実に影響があったものと考えております。

- ・ もう一点、高齢化率について富山県は32%と書いてあったと思いますが(32.8%)、中心市街地の柳町、清水町、五番町、八人町の4校下では、高齢化率が35%を超えていると思います。大体3分の1以上が高齢者ということなので、健康寿命を増進するためには、その3分の1以上の高齢者に目いっぱい力を尽くさなければいけないのではないかと思います。

(長寿福祉課長)

ご指摘のとおりかと思えます。こうしたことから本市では、フレイル状態になる前から、先ほどの説明もありました取組みを皆様をお願いしたいと取り組んできたところです。また、一人ではなかなか難しいということであるので、仲間意識を持って行っていただきたいことから、パワーリハビリテーションのような指導者がつくようなものもありますが、介護予防サークルや、他にもご紹介しませんでした。が、楽々いきいき運動といった指導者をつけて行うものにも取り組んでいるところです。

話しは戻りますが、高齢化率が先ほど市は約30%となっていました。さらに中身を申し上げますと、先ほどの表にもありましたように、これからは65歳から74歳の方よりも、後期高齢者の方たちのほうがさらに増えてくるという状況が全国的にも現れています。そういったことから、特にやはり前期の高齢者の方々にも、さらなる予防に取り組んでいただければと考えております。

- ・ 富山市のがん検診について、受診項目が胃から乳がんまでとなっています。がんは色々種類があると思うのですが、ここで5か所に限定していて、今後、他のがん部分は考慮することはないのでしょうか。

(保健所地域健康課長)

こちらのがん検診につきましては、国で示されているがん検診を紹介しております。例えば前立腺がんなどは、がん対策事業とは別の、健康診査事業というところで実施しております。今回は、国で示されたがん検診だけお示ししており、わかりにくく申し訳ございません。これ以外につきましては別の項目で実施しておりますので、必要なものについては富山市で判断して（健康診査事業に）追加する場合があります。

- ・ 富山市ではどのくらいがん検診車を持っていますか。

(保健所地域健康課長)

がん検診車につきましては、富山市独自で保有しているものではありません。基本的には、富山県健康増進センターというところが県内全域をカバーするような形で検診車を手配されており、そちらに富山市も委託して実施しております。なかなか数がそろわない場合につきましては、別の市内業者に委託する形をとらせていただいております。

【その他意見交換】

- ・ 今日のこの会合の目的といたしますか、今日の会場はこの柳町公民館だということですが、対象になっているのはどの辺（の方でしょうか）。市報など色々なもので会場を説明してありますので、他の校下の方がおいでになっても十分なのですが、柳町で実施するということについては、やはり地域の特性のあるような問題を、なるべく話し合いにさせていただけたらと思います。

(広報課長)

タウンミーティングにつきましては、広報という市の事業を知っていただくという面と、ご意見を伺う広聴という面があり、各地域を回って色々な事業の説明をさせていただいておりますが、日程や事業などの関係上、大変申し訳ありませんがこちらで事業を選定し、ご説明させていただいている次第です。タウンミーティングは地域を色々と回っており、他の地域の会場にも参加できます。今回はた

またま商工労働部、福祉保健部のお話でしたが、その他に興味のある事業等がありましたら、お時間があればぜひ他の会場にもご参加いただければと思っております。

(企画管理部長)

若干補足させていただきます。広報課長から申し上げたタウンミーティングの趣旨目的は、先ほど説明したとおりでして、市の施策全般について市民の皆様にご知っていただくということで、市内全域を一年に大体5、6か所ずつ、そして概ね全部局を分けて会場でご説明をしております。今日も福祉保健部の説明の中で、例えばがん検診についても柳町校下ではどうかということについての資料を少し揃えさせていただきますが、そのテーマに沿ってその地域の特性なども、できるだけデータなどを用いながらご説明するように努めているところです。このタウンミーティング以外にも、例えば各町内会あるいは自治会などで、このテーマについて市役所の見解なり施策を説明して欲しいといったご要望等もあるかと思いますが、その場合には市役所の出前講座というもので、内容についてもできるだけ多くの講座をご準備させていただいておりますので、市ホームページや市役所にお問い合わせいただき、ご希望があればご連絡をいただければ対応させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

- ・ 今日はとても説明を楽しく伺わせていただきました。それで、観光というお話の切り口があり、観光がまちの光だということをお話されたかと思います。ここには住んでいる皆さんが幸せだということが一番のベース（として必要になってくるのではないかと思います）。幸せであれば、幸せな街があり、幸せな仕事があり、となっていくと思います。何気ない路面電車の音だとか、それから田んぼの流れている用水の音だとか、どうでもいい音が観光客にとっては一番の宝になっているのではないかと思います。そのためには、やはり富山市民みんなが幸せで楽しく暮らせるようになっていくことが一番なのではないかと（思います）。

そうすると次の(説明の)「健康寿命の延伸」についても同じことなのかなと(思います)。何が言いたいかという、そうした時に(必要になるのは組織の)横の繋がりです。要するに、「健康寿命の延伸」は)福祉課のご説明でしたが、観光課の方々と、富山市民が幸せになるためにどのようにしていくといいかと(考えていくための、)横の繋がりがあるのか伺いたいと思います。それで、スマートシティの計画についてのホームページを見ましたが、書かれていることはとてもいいことなのですが、実際に皆さんが考えられていることが、市民のところまでどれほど波及しているのか、やはり市役所の皆さんと市民が一緒になって、楽しく幸せに暮らせるようなまちづくりをしていくことに目を向けていかないと観光にもならないし、私たちも住みやすくなりません。今は良いかと思いますが、これからもどんどん高齢化してくわけですから、できれば(組織の)横の繋がりを持っていただきたいと思いました。

(企画管理部長)

我々もそういった仕事を進める上で、とにかく行政というのは縦割り主義だと色々なご批判などを受ける場面があります。やはり縦割りだけでは、今の様々な市民ニーズや複雑化した行政課題に対応することは年々難しくなっておりまして。ですから、今ほどご意見いただきましたように、組織の中でも横の連携を絶えず意識していくということは重要だと思っております。先ほどご紹介をいただきました、昨年策定した富山市スマートシティ推進ビジョンは、市長がいつもお話されているように、富山市のどの地域に住んでいても、その方々が普段の生活に不便を感じることなく、自分自身の生きがいを持って暮らしていけるような、そんなまちにしたいというような大きな目標のもと、それぞれどういったデジタル技術を使って対応できるかということ、組織横断的なプロジェクトチームや会議の中でテーマを定めて、それぞれ横の連携を結び、力を発揮しながらまとめたものです。その内容は行政だけで考えたのではなく、市民の皆さんとの意見交換やワークショップを各会場で数多く実施し、市民の皆さんが暮らしやすさや便利さ、何が必要かという(意見を)お出しいただいた中で、それを実現するため

にはどういった方向性があるかを考えて策定させていただいたものです。これは一つの例ですが、今ほどご意見をいただいたとおり、今後も市民の皆さんとの対話そして組織の横の繋がりを十分重視しながら、市政を進めてまいりたいと考えております。

※ 発言の一部を整理して掲載しています(広報課)